

Point ▶ 取組のポイント

[ヒト]

故郷を面白い
街にしたい

[着眼点]

ともに切磋琢磨する
プレーヤー

[連携・協働]

浜通りを愛する人の
コミュニティ

[持続性]

不動産開発で
新たな街づくり

Area ▶ エリア

福島県いわき市

Player ▶ 取組主体

特定非営利活動法人 TATAKIAGE Japan

Project ▶ 取組の内容

起業家支援と地域課題解決のための
イベント開催

Profile ▶ 人物紹介

理事長

松本 丈

(まつもと たけし)

同郷の親友、鈴木賢治
(TATAKIAGE Japan 理
事) が代表である(株)
47PLANNINGに入社し、
同社で震災後に立ち上
げた夜明け市場の創業
とともに、いわき市にU
ターン。

理事

小野寺孝晃

(おのでら たかあき)

都内IT企業で新規事業
開発担当。在職中に事
業構想修士課程(MPD)
を修了し、社会起業塾、
いわきBPCで入賞する。
2015年にいわき市にU
ターン。

浜通りを
面白い街にしよう!

[ヒト]

故郷を面白い
街にしたい

TATAKIAGE Japanの活動の中心は、
ともにいわき市出身の松本丈理事長と小
野寺孝晃理事だ。ふたりが出会ったの
は、震災から2年後の2013年のこと。
故郷を面白い街にしたいと考えていた小
野寺さんが、地域プロデュース会社に
「いわきで一番頑張っている若い人
を」と頼んで紹介されたのが、松本さん
だった。

高校卒業後、上京した小野寺さんは、
IT企業で営業企画の仕事をしていた。
震災時は「会議中でしたが、大きな横

揺れで吹っ飛ばされました」。実家は半
壊したが、家族は無事だった。

2年後、小野寺さんは思うところがあ
って事業構想大学院大学の2期生とな
り、再び学生生活を送った。しかし、
指導教諭から「お前の強みはいわき出身
ということしかない」と言われ、帰郷を
真剣に考えるようになった。決断した理
由は、大学で書いた論文「福島県浜通
りの地域経済活性化」を実践したいと思
ったこと、「いわきビジネスプランコンテ
スト」(2014年)で地産地消目的のECサ
イト実現を提案し、優秀賞を受けたこと、
福島で頑張る若い人たちの存在を知った
ことなどだ。

2度目のいわき暮らしも3年目。「いま
は、浜魂(後述)を軸にした新しい街づ



① コワーキング・スペース ② 被災店再開のために
始めた夜明け市場 ③ 浜魂でのプレストの様子

福島県いわき市のTATAKIAGE Japanは、飲食街の運営ノウハウを生かし、
 地域のためにアクションを起こしたいあらゆるプレイヤーの一步を支援する。
 戦後日本の復興と、震災後の東北の復活を重ねたネーミング。
 課題を克服して地域を活性化することから、日本中をたたき上げるのが目標だ。

くりにチャレンジしていますが、いわきの、どの人が何を考えているのか、わかるようになった」と、小野寺さんは話している。

松本さんは東北大学大学院で建築学を学び、不動産会社に就職した。その後2009年、親友の鈴木賢治さんが立ち上げた株式会社47PLANNING^{ヨシナオプランニング}へ入社することになった。47PLANNINGは、地域と食に特化したイベントのトータルプロデュース会社だ。東京都内で福島の郷土料理店の出店を準備している時、震災に遭った。鈴木さんと会社の仲間といわきに炊き出しに行った帰りの銭湯で、「炊き出しにも意義はあるけど費用もかさむし、その場限りになってしまう。地元の復興のための飲食店街を始めよう」と構想が生まれた。

いわき駅前には、築半世紀のスナック街「白銀小路^{しろぎんこうじ}」がある。松本さんと鈴木さんは白銀小路の空き店舗を再生させ、震災から7カ月後、「復興飲食店街 夜明け市場」をオープンさせた。名前には「明けない夜はない」の意味を込めた。

「僕たちの目標は最初、被災店再開でした。その後、ここでの独立開業を応援することになっていった」と、松本さん。

夜明け市場は2013年、福島県が実施する「ふくしまベンチャーアワード」第1回で、スタートアップ部門の金賞に輝いた。

またこの年、松本さんや鈴木さん、小野寺さんたちは、飲食店以外にも地域を活性化するプレイヤーを増やすための団体を設立した。それが特定非営利活動法人TATAKIAGE Japanだ。

【着眼点】

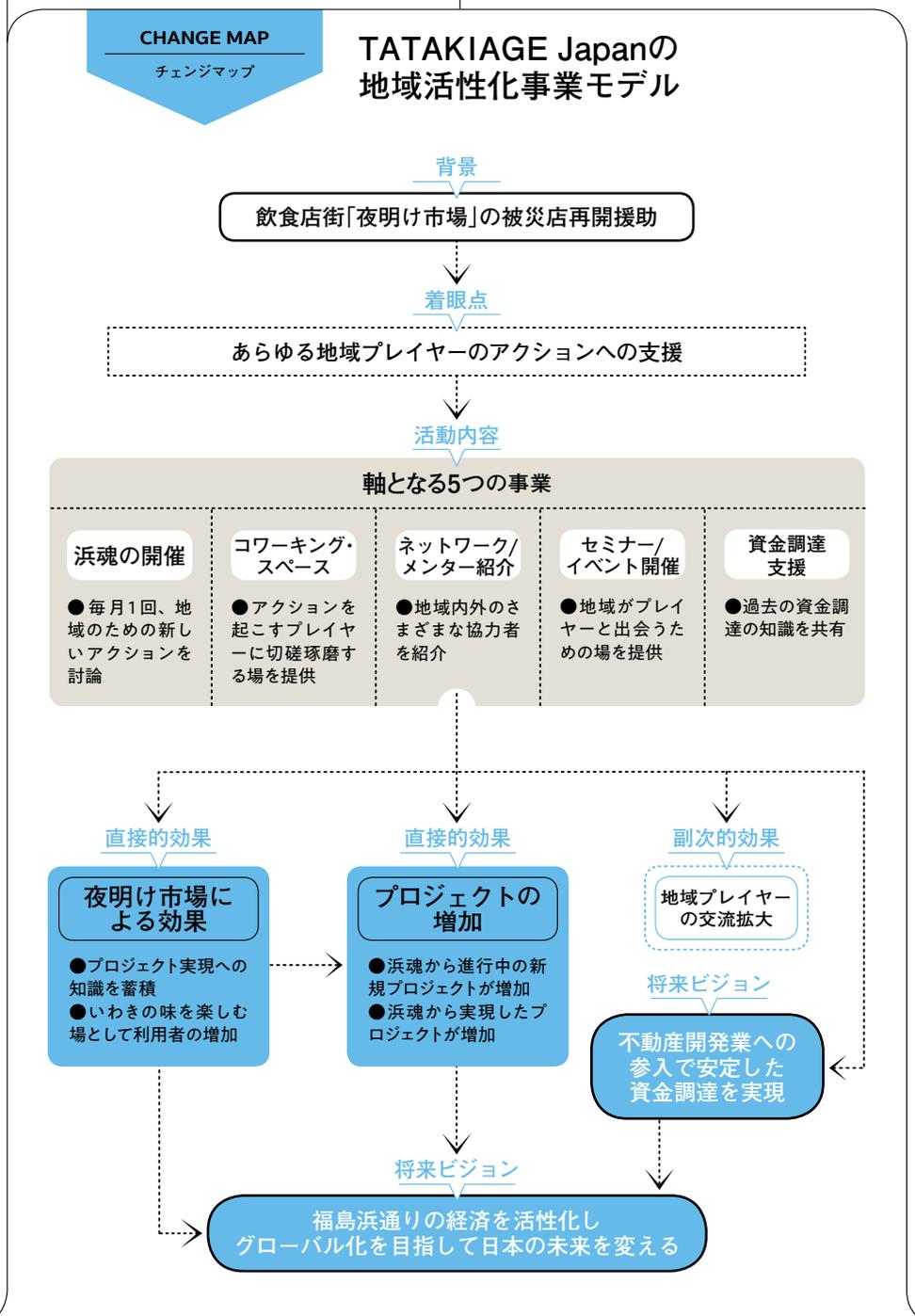
と もに
 切磋琢磨する
 プレイヤー

TATAKIAGE Japanの事務所は、夜明け市場の2階に置かれている。

活動内容は、「いわき市で熱い想いを持ってアクションを起こす人をサポートすること」と定めた。アクションというのは起業ばかりでなく、地域のためにする、あらゆることだ。高校生が何かをしてもよいし、主婦が何かをしてもよい。小さな行動もいずれ地域を動かす大きな力になると信じるからだ。

ただ、何かを実現するまでには多くのことが必要になる。特に重要なのが「誰

とやるか」「誰の助けを借りられるか」。ある分野の地域のキーマンの周りには「あの人が言うなら」と一肌脱いでくれる人材がいて、地域の協力が得られるようになる。TATAKIAGE Japanは、何かをしたい人が仲間や適切なキーマンと出会って前に進むために、出会っていなかった人や団体同士をつなげるコーディネーターや、場づくりをしてサポートする。サポートといっても、TATAKIAGE Japanは



ただの支援団体ではなく、自らも事業を行うプレイヤー仲間という位置付けだ。夜明け市場を通して築いたノウハウやネットワークを、新しくアクションを起こす人たちに利用してもらおう。

利用対象者は、「福島県内もしくはいわき市内でアクションを考えている人」「地域のために何かをしたいという想いを持つ人」「すでに自分のビジネスを持ち、次の展開を模索している人」「ビジネスパートナーを探している人」「ターン・Uターンして福島やいわきで起業したい人」「福島やいわきからグローバル展開を目指している人」としている。

福島県やいわき市がいま抱えている課題の多くは東北の課題であり、日本全

体の課題でもある。ともに切磋琢磨して、地域から、日本の未来を変えていくことを目指している。

[連携・協働]

浜 通りを愛する人のコミュニティ

小野寺さんは震災前からのいわきの課題として「新規事業が立ち上げにくい。私の強い人が多く、外からの人に関心が低い」ことを挙げる。1966年、14市町村の合併で生まれたいわき市。合併

後の課題として、市のホームページには、「旧地区を単位とする地域意識が強い」などと記載されている。

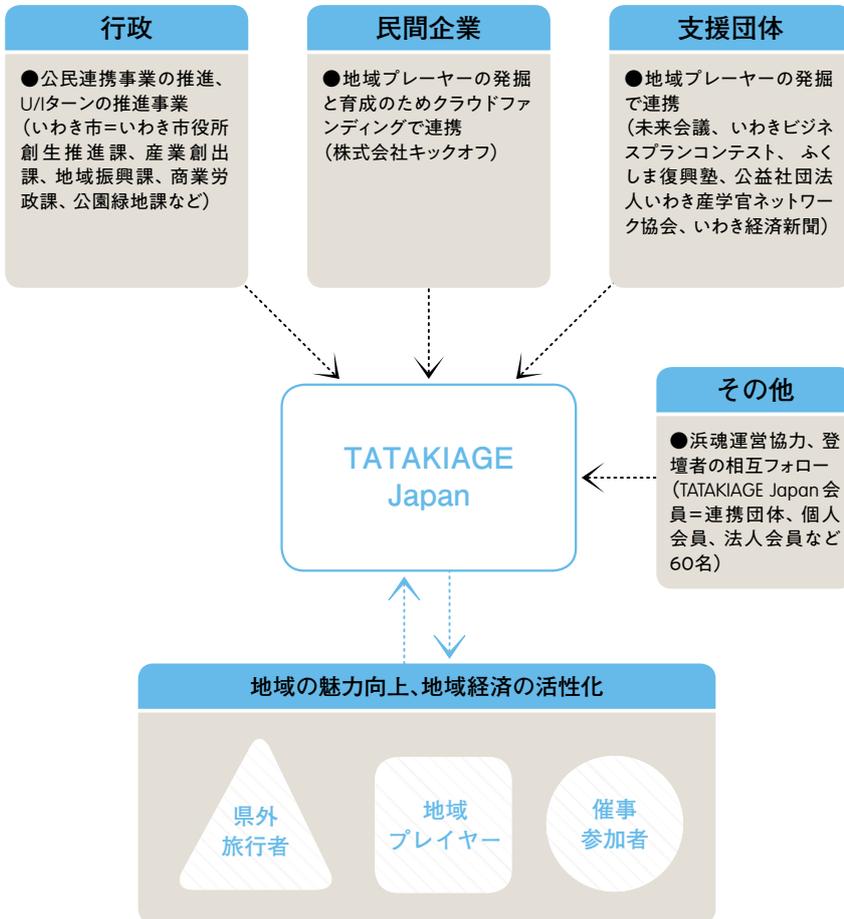
さらに小野寺さんは、市民の「行政頼み」の傾向も課題として挙げる。

「行政に頼り切るのではなく、自分たちで稼ぐ仕組みづくりをしながら、面白い街にしていきたいと思いました。自分たちのために好きでやるのが大事だろうと。最初は人と人との間で困ることがありましたが、いまは皆さんにご協力いただけるようになりました」(小野寺さん)

TATAKIAGE Japan はさまざまなアクションを具体的にサポートするため、いくつかの事業を軸に活動している。例えば事務所に併設された「コワーキング・スペース」(アクションを起こす人同士が切磋琢磨し、よい影響を与え合える場)の運営、地域内外のネットワークや地域のメンターの紹介、セミナー・イベン

COLLECTIVE IMPACT
コレクティブ・インパクト

TATAKIAGE Japanの連携・協働の図





Data ▶ 本事例の問合せ先

TATAKIAGE Japan
所在地：福島県いわき市
HP: <https://www.tatakiage.jp>
主な事業内容：浜魂の開催/
コワーキング・スペースの運営など

Area ▶ エリア

福島県いわき市

ト開催、資金調達支援など。

なかでも、柱となる事業が2015年にスタートした浜魂だ。神奈川県鎌倉市の、街を熱くしたい人をITで支援する「鎌魂」を先例とし、名前にも敬意を込めた。hama+community、浜通りを愛する人のコミュニティの意味もある。

浜魂では、浜通りをよくするために、新しいアクションのアイデアや悩みをプレゼンテーションする。それに対して、参加者全員がプレスト(アイデア出し)をする、という全員参加型のプレゼン&プレストイベントだ。浜通りをよくするアクションなら何を提案してもよく、参加者に制限もない。

当初はいわき市内の「いわきPIT」で開かれることが多かったが、他地域での開催も増えつつある。例えば、2017年7月の第20回「浜魂」in久之浜では「人口減少・少子高齢化の進む地元久之浜・大

久町で公共交通を再生させ、地域住民の協力体制をつくる方法」「若い人に地域の魅力を知ってもらう方法」「一流の人間力を育てるための街づくり手法」「サンマ加工時に捨てる部位の生かし方」について話し合われた。

[持続性]

不動産開発で 新たな街づくり

浜魂の登壇者は、スタートから延べ100人を超えた。その3分の1ほどがプロジェクトを進行中。いくつかのプロジェクトはすでに事業化されている。

ただ、志や専門知識だけでなく、事業継続には資金力も必要だ。「復興特

需」や国の補助を頼むだけでは長続きしない。「日々、稼げる街づくり」を構築するため、「エリアに新たな価値をつかっていく不動産開発に挑戦しています。うまくいけば、町に新しいお客さん呼び込めるし、雇用もつくられるようになる」(小野寺さん)

街づくりの公民連携の事例を作りたいと、現在企画中なのが、磐城平城跡約4,000坪の活用計画だ。「どんな知恵を出して、お金の流れをどうするかが勝負」と、小野寺さんは話している。

松本さんは、復興庁の「復興・創生インターン」にコーディネーターとして参画。企業・団体の経営課題の解決に経営者とともに取り組む学生を支援している。

沢山のプレーヤーが地域に根付き成長することで地域が変わる、故郷が面白くなる。TATAKIAGE Japanは、浜通りから日本をも面白くする活動に邁進中だ。



① 浜魂登壇の様子 ② 第20回浜魂の集合写真 ③ いわき市四倉町のたんぼアートも浜魂から実現 ④ 初対面でも活発に議論する浜魂でのプレスト(アイデア出し)の風景